



■補助金と財源内訳の推移 (単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助金	604,833	680,000	680,000
企業債元利・建設改良	162,494	162,073	166,161
救急医療	94,474	131,881	126,487
不採算地区病院対策	250,527	265,130	253,783
その他	97,338	120,916	133,569
うち法令基準に基づく国からの交付金額	217,094	248,081	249,787

※『法令基準に基づく国からの交付金額』は、国から示された数値を記載しています

■病院収支と累積欠損金の状況 (単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病院事業収益	1,203,699	1,284,879	1,318,441
入院収益	244,224	258,518	240,994
(入院患者数)	(10,994人)	(11,503人)	(10,236人)
外来収益	288,111	266,509	308,031
(外来患者数)	(35,302人)	(37,004人)	(36,674人)
他会計補助金	469,582	536,703	528,968
特別利益	6,664	0	0
その他	195,118	223,149	240,448
病院事業費用	1,211,304	1,294,317	1,297,286
給与費	741,899	786,101	781,057
材料費	110,928	111,538	118,006
経費	223,231	242,479	247,691
企業債利息他	27,321	22,594	17,584
特別損失	6,664	0	0
その他	101,261	131,605	132,948
当年度純利益	△7,605	△9,438	21,155
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0
減債積立金処分額	0	0	0
累積欠損金	643,150	652,588	631,432
うち不良債務	0	0	0

病院経営にとって、常勤医師はもとより、看護師をはじめとする医療技術員の体制整備は、病院運営の根幹をなすものです。

医師確保の問題は、町立厚岸病院

一般病棟での新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ対応に伴う感染症病床確保促進事業の交付を受け、収入総体では前年度を上回ったことから、決算では、2115万円の黒字決算となり、欠損金を圧縮することとなりました。

医師および医療スタッフの確保に向けて

のみならず全国的に改善が進まず、特にへき地の自治体病院や診療所において共通した重要課題で、非常に厳しい状況が続いています。

医療や福祉はマンパワーとチームワークが大切です。町立厚岸病院が担う地域医療の確保や24時間の救急医療体制を維持するため、北海道などとも連携し、常勤医師の招へいと医療技術員の確保に全力で努めていきます。

老健『ここみ』の運用状況

医療と高齢者福祉に対応した介護老人保健施設『ここみ』(23床)は、町

立厚岸病院と特別養護老人ホームの中間的な役割を持つ施設で、趣味やレクリエーション活動を行い、精神面でのケアを図りながら家庭への復帰を目指して支援をしています。

令和4年度決算では、収支差し引き323万5千円の黒字決算となっているものの、前年度繰越金、基金繰入金の661万5千円を除くと、実質単年度では赤字決算となり厳しい状況となっています。

また、利用状況では、1日当たりの平均入所者数が18・7人(前年度対比0・9人の減)の利用となりました。

救急外来の適正な利用のお願い

町立厚岸病院では、24時間の救急医療体制を整備し、救急患者の受け入れを行っていますが、これは突発的な症状(激しい頭痛、腹痛、胸痛、外傷など)で、緊急処置の必要な患者さんの治療を行うものです。

しかし、『コンビニ受診』と呼ばれる緊急性の低い軽症患者の受診もまだまだ見受けられます。救急外来は24時間いつでも受診できる便利な夜間診療ではなく、緊急時に対応するためのものです。コンビニ受診が増えると、重症患者への対応に影響が出たり、医師の負担が増して疲弊にもつながります。

できるだけ診療時間内の受診をお願いします。

